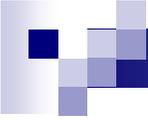


APIR研究プロジェクト

**「中小企業の東南アジア
進出に関する実践的研究」
第1回研究会**

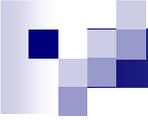
2012年5月8日(火)

政策研究大学院大学 大野 泉



研究プロジェクトの目的

- 日本の中小企業が「ものづくり」をアジア等の海外で展開するために、日本および投資受入国でとるべき具体的施策を検討し、提言をとりまとめる。
 - 中小企業の海外展開支援のために国・地域レベルが進めている体制構築、および地方自治体・関係機関等による様々な取組みを現場レベルで推進することをめざす。
- 今後の政策、企業の取組みに役立つ具体的な情報の提供
 - ベトナムの現場の取組みをふまえた、実効性と政策インパクトのある分析と提言
 - 国内外の知的ネットワーク構築への貢献



関心事項

- 中小企業の海外展開支援に関する国・地方自治体・関係機関等の取組み、課題
- 地方自治体からみた、ものづくり中小企業の海外展開のニーズと課題（大阪を含む関西）
- 中小企業の海外進出に関する考察（日本型ものづくりの海外展開 vs. 国内空洞化、海外進出すべき企業と残るべき企業、等）
- 途上国における産業人材育成、日系企業とのマッチング可能性（特にベトナム）
- 途上国側の受け皿としての工業団地の現状と課題（特にベトナム）



実施方法

- 国内での議論・ヒアリングと海外調査を組み合わせて実施
 - APIRを拠点に、関係機関・企業・専門家等が参加するオープンな研究会を運営
 - 関係機関、企業、専門家等からのヒアリング・情報収集（既存・実施中の各種調査の活用・引用）
 - ベトナムでの海外調査（2012年度）
- 国・地方自治体・企業・経済協力機関等とのネットワーク構築
 - 近畿経済産業局をはじめとする「近畿地域中小企業海外展開支援会議」の構成機関等との連携にも努める。



ベトナムを事例とする理由

- 関西企業の強い関心(中国に次ぐ)、中小企業による対ベトナムFDIの増加
- 日本政府・関係機関による各種イニシアティブが展開中、モデルケースとしての位置づけ
- ベトナム側のニーズ(「2020年までの工業国化」)、日本の「ものづくりパートナー」となる可能性?
- 研究チームがもつベトナムでのネットワーク活用



研究会のイメージ

第1回 2012年5月8日(火)	<ul style="list-style-type: none">■キックオフ、ものづくり中小企業とベトナム (大野泉・大野健一)■大阪ものづくり中小企業と支援、現状と課題 (大阪府商工労働部 領家誠氏)
第2回 2012年7月頃	<ul style="list-style-type: none">■ベトナム現場からの報告(1)―産業人材育成、裾野産業の現状と課題(仮) (在ベトナムJICA専門家、投資誘致専門家等)
第3回 2012年10月～12月頃	<ul style="list-style-type: none">■ベトナム現場からの報告(2)―工業団地の現状と課題、日系企業専用工業団地(仮) (在ベトナム工業団地関係者等)
第4回 2013年1月～3月頃	<ul style="list-style-type: none">■今後検討(国内での議論、ヒアリング、海外調査をふまえて)